

3 学期始業式 式辞 ((平成 30 (2018) 年 1 月 9 日 (月))

今日は 3 学期の始業、2018 年、平成 30 年の豊北高校の幕開けとなります。学校としての新しい年がスタートする今日、皆さんは、どのような気持ちで登校してきましたか。

と言っても、年が明けた冬休みの間も部活動に、また、3 年生では、センター試験をはじめ、進路実現に向けて、勉強のために登校していた生徒もたくさんいますので、今日からスタートと言ってもぴんと来ないかもしれません。

「いつもと変わりません」という生徒も多いかもしれません。

もったいない。今日という日は、考え方によっては、特別な日になるんです。

例えば、今から皆さんが行ういろいろなことの頭に「今年初めて」という言葉を付けてみましょう。

今年初めての登校。ほら、いつも見慣れた風景が、列車から見える風景が、いつもと違って見えるかもしれません。

今年初めての授業。ちょっと、背筋が伸びませんか。

今年初めての漢字テスト。少しやる気がでてきませんか。

友達と話す時、「今年初めて、お話しするね」って話しかけてみてください。相手が異性だと、恋が芽生えるかもしれません。

初めての体験は、いつも、わくわく、ドキドキするものです。

思えば、私たちは、自分一人では何もできない状態で、この世に生まれ、いったいどれくらいの「初めて」を乗り越えてきたのでしょうか。

初めて立ちあがった時。初めて、お父さん、お母さんの名前を呼んだ時。初めて、自転車の補助輪を外した時。初めてグローブを買ってもらった時。

一つひとつの「初めて」を積み重ねて、できなかったことが、できるようになり、今、ここまで成長してきました。その度に、皆さんは、親御さんを初め、周囲の方に笑顔を届けてきたのでしょうか。

「初めて」とは、「チャレンジ」と同じ意味かもしれません。これまでは、人間として生きていくためのチャレンジ。そして、高校生になったこれからは、よりよく生きていくためのチャレンジ、いろいろな初めてに積極的にチャレンジして、積み重ねて欲しいものです。

「初めて」は、わくわく、ドキドキとともに、本当は、本当に怖いものでもあります。

3 年生の皆さんは、4 月には大きく環境が変わり、大きな初めてが始まります。その一步を自信をもって踏みだせるようこれからの 3 ヶ月間を過ごしてください。間違っても、この 3 ヶ月のために、これまでの 3 年間をばあにすることがあってはいけません。進路が決まった人は、今だからこそ、気を引き締めて、次のステップの準備をしてください。特に推薦で進路先を決めた人、学校が推薦したにふさわしい生徒であり続けてください。

センター試験や一般入試の受験に向けて、今も、がんばっている人。辛いね。しんどいね。現役生は最後の瞬間まで力が伸びるものです。今のこの努力は、

必ず様々な形で生きてきます。みんな経験してきたこと。経験してきた私がい
うのですから、間違いない。

2年生の皆さん。先日の進路便りに、2年生の3学期は、3年の0学期とい
う言葉を目にしました。その通りです。進路を決定する3年生のための準備、
最高学年として、学校を引っ張っていく3年生としての準備。その時は、すぐ
そこです。準備と言うよりも、意識を高く持って、人より早く走り出しましょ
う。そのためにも、明日から、出発する修学旅行を有意義なものとしてくださ
い。

1年生の皆さんは、この1年間で、もうすっかり、私たち教職員も自信をも
って誇れる北高生の顔になったように感じています。これからの学校の中心で
す。チャンスの順番が回ってきました。

いや、チャンスに順番が回ってきたと言えるかもしれません。これは、2年
生にも言えることですが、今、北高は、下関北高校が新たに開校するのを見据
えて、北高にしかできない様々な取組を新たに始めています。この北高だから
こそできる、他校ではできない経験を大切に、積み重ねてください。

他の学校と比べて、仲間との距離も近いはず、先生との距離も近いはず、授
業でもわからないことがあれば、遠慮せずに先生に聞きに行く。大きな学校で
は、生徒の数が多すぎて中々回ってこないチャンスが回ってくる。それを生か
す。街の学校ではできない、地域と一緒にやって行う取組に積極的に参加する。

学校の規模がそれほど大きくないこと、自然が豊か、田舎にあることは、考
え方、意識の持ち方次第で、ハンディではなく、チャンスとなります。そうい
う取組を進めています。

経験を積み、その経験に裏付けられた言葉は、ホームページや教科書から拾
ってきた言葉と違って力があります。これらは、進学の際の面接や小論文でか
けがえのない武器になることでしょう。そんなチャンスがこの学校には、たく
さんあります。

他の人では語れない、あなたしか語れない経験を積んで欲しいと思います。

下関北高校が開校するこの平成30年が、学校としても、皆さん一人ひとり
にとっても大いなる飛躍の年となることを期待して、挨拶とします。

頑張りましょう。